



広報誌

〒701-0304 都窪郡早島町早島4066
TEL.086-482-1121

発行日/平成27年4月
発行所/独立行政法人国立病院機構
南岡山医療センター
責任者/宗田 良

そよかぜ

2015年4月 Vol.18

春号

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。
人としての尊厳を重視した上で専門医療(国
の定める政策医療)に誇りを持ち、地域の
皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう全力を尽くします。

CONTENTS

- ホームページが新しくなりました2
- 結核診療連携拠点病院研修会3
- 医師紹介-湯浅一郎(外科医長)3
- 職場紹介-臨床検査科4-5
- 手洗いキッズセミナーを開催して6
- ボランティア感謝状贈呈式6



ホームページが新しくなりました

今年の1月に仮オープンした新外来棟も、旧外来棟を解体した後、正面玄関・駐車場等が完成し、6月1日に正式にオープンいたしました。この時期に合わせて約1年前からホームページのリニューアルを計画しておりました。当初の計画より多少遅くなりましたが、5月25日にやっと新しいホームページを公開することができました。現在のホームページは初代から数えて4代目になります。

初代のホームページは平成11年6月に公開されました。当時はまだホームページを開設している病院は少なく、斬新なものと考えていましたが、今となっては少々古めかしいものとなってしまいました。

2代目のホームページは平成15年9月に公開されました。古めかしい印象から脱却することと、「患者様の知りたい医療情報」をわかりやすく伝えるために「知識の泉」のコーナーを設け、様々な情報を発信しました。

3代目のホームページは平成19年1月に公開されました。これまでは院内のスタッフだけで作成していましたが、より見やすいページをより早く公開するため、外部機関に作成・更新をお願いしました。それから8年が経過し、様々なページが加わり、情報量は非常に多くなりました。その反面、情報が古くなっていたり、ページが入り組んでおり見たい情報にすぐにはたどり着けないなど不都合な点も目につくようになりました。

今回のリニューアルでは医療関係者・一般の方々などの区別なく、誰もがすぐに知りたい情報にたどり着けることをモットーに少し情報を整理いたしました。古くなった情報を削ぎ取り、必要な情報を5つのカテゴリーに分けて探しやすく配置しました。また、主なページへはどこからでも飛んでいけるような工夫もしております。小高い山の上に位置し、緑に囲まれたイメージから、ホームページの色彩も優しさの感じられる緑に統一いたしました。

皆様からご意見をいただきながら、更に充実させ、見やすく親しみのあるページ作りを目指していこうと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

初代

平成11年6月～

国立療養所南岡山病院
National Sanatorium Minami-Okayama Hospital

1999年6月14日以降 〇〇〇〇件のアクセスがありました。
最終更新日 2003年4月30日

私たちは、患者様に「信頼され、満足して頂ける病院」になるよう、積極的に取り組んでいます。

2代目

平成15年9月～

National Minami-Okayama Hospital
国立南岡山病院

私たちは、患者様に「信頼され、満足していただける病院」になるよう、積極的に取り組んでいます。

●ホームページのデザインを一新しました。
●旧ホームページの一部を削ぎ取りました。
●独立行政法人移行後における取組(法務省認定)のための事業量の公表について (PDFファイル)

3代目

平成19年1月～

国立行政法人 国立療養所 南岡山医療センター
National Hospital Organization Minami-Okayama Medical Center

私たちは「安心・信頼、心からの満足」を追求し、患者様の健康と生活の質の向上に努めています。患者様の健康と生活の質の向上に努めています。患者様の健康と生活の質の向上に努めています。

4代目 平成27年5月25日～

国立行政法人 国立療養所 南岡山医療センター
National Hospital Organization Minami-Okayama Medical Center

2015年6月、南岡山医療センターが変わります。

新着情報

初めてご覧の方へ

ゆるぎない信頼 心からの満足

人として尊重されること、安心して医療を受けること、病を乗り越えること、心から満足すること、これらが患者様の健康と生活の質の向上につながります。

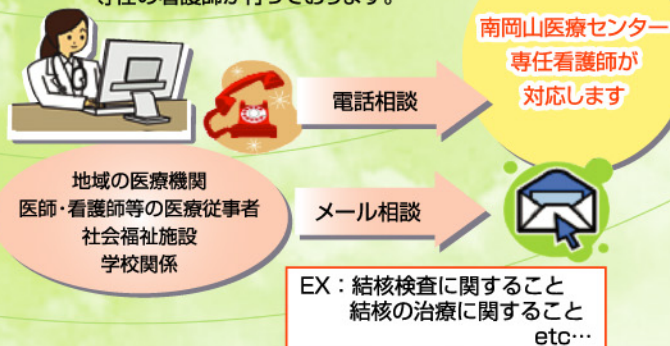
結核診療連携拠点病院研修会

平成27年3月12日(木曜日) ホテルグランヴィア岡山において、「院内DOTSを含めたDOTSの推進と結核医療連携体制の推進について」というテーマで、県内の医療機関を対象として、結核診療拠点病院である岡山健康づくり財団附属病院と当院並びに岡山県の主催で結核対策研修会を開催しました。講師には、結核予防会結核研究所の加藤誠也先生をお招きして、「最近の結核診断治療とこれからの結核対策のあり方」として、結核の基礎知識から疫学動向、検査、治療にわたるまで、最新の知見を取り入れながら幅広くご講演いただきました。また、倉敷中央病院の薬剤師の佐藤可奈先生には、「一般医療機関におけるDOTSへの取組」と題して、主として結核の外来治療での薬剤師の関わりについての精力的な取り組みを紹介していただきました。さらに、当院と健康づくり財団病院とで平成25年10月より開始しております「結核医療相談技術支援センター」に関して、これまでの相談件数、内容、課題等を報告いたしました。平日の夜にも関わらず、医師、看護師、薬剤師、検査技師の方々を中心に260名余のご参加をいただき、活気溢れる研修会となりました。

結核医療は、結核の専門病院だけにとどまるものではないのは当然のことですが、改めて一般医療機関の方々の結核に対する問題意識の高さを目の当たりにし、また、

結核医療相談・技術支援センター

南岡山医療センターでは、結核医療に関する相談支援を専任の看護師が行っております。



様々な職種の方の参加をいただきましたことを重く受け止めていきたいと考えております。

現在、全国的にも結核の罹患率は年々低下しており、専門医療機関もかなり限定された状況ですが、結核はまだまだ身近な疾患です。人口の高齢化に伴って高齢者施設での集団感染も見られており、また結核に慣れていない医療機関における診断の遅れなど、今後解決すべき問題が多々あります。結核医療相談・技術支援センターでは、結核に関する様々な問題に対して少しでも役に立てるよう、医療機関、福祉施設、教育機関の方々からのご相談を受け付けております。検査・診断に関する疑問、治療に難渋する例、院内の感染対策など、何かございましたら、下記の要領でお問い合わせいただければ幸いです。

結核医療に関する相談の受付は、専用電話(086)482-1128(ダイヤルイン)内線4811、4812で、毎週月曜日、木曜日の13時~17時(祝祭日等は除く)専任看護師2名で行っています。

E-mailでは、随時受け付けていますが、相談内容により回答には時間をいただくことがあります。



相談対応日: 毎週月曜日、木曜日の13時~17時
(祝日等の休日は除く)

Tel(086)482-1128 (ダイヤルイン)4811, 4812

E-mail: minami-kekaku@momc.jp (随時受付)

医師紹介



外科医長
湯浅 一郎
Ichiro Yuasa

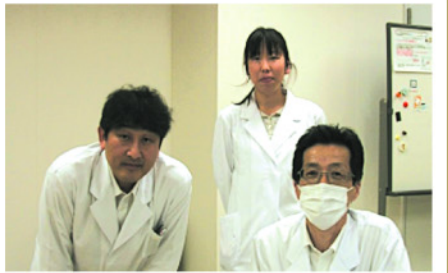
平成27年4月1日より南岡山医療センター・外科に勤務することになりました湯浅一郎と申します。現在まで主に消化器外科を専門にしておりました。

腹腔鏡下胆のう摘出術から発展してきました鏡視下手術も現在は腹部手術の大部分を網羅するようになってきています。当院におきましても、出血等の侵襲が少なく、早期離床が可能な腹腔鏡手術(胃癌、大腸癌、胆嚢結石症、鼠径ヘルニア、虫垂炎、腸閉塞等)を積極的に行っております。また腹腔鏡の中でもより整容性の高い単孔式腹腔鏡下手術(胆嚢結石症、鼠径ヘルニア、虫垂炎等)も準備ができ次第行っていく予定です。

最近腹腔鏡手術の危険性に関してニュースなどで見かけることもあると思います。しかし、適応を間違わず、きちんとした手術を行えば、開腹手術と比較して安全性は全く劣らないと証明されています。

最後になりましたが、この地域の医療に携わることができうれしく思います。一生懸命治療にあたらせて頂きます。どうかよろしくご願ひ申し上げます。

臨床検査科では、患者さまより採取された血液・尿・喀痰・便・体腔液などから生体成分・抗体・細菌・ウイルスそして患者さまの体内の電気信号や超音波を用いて機能や腫瘍等の有無などを調べる生理機能検査を臨床検査技師これらの検査を正確かつ迅速に実施し臨床医へ報告、病気の診断や治療に役立つ情報を提供しています。またチーム医療の一員として感染症、糖尿病、褥瘡、NST等各種委員会に参画し、患者さまの立場に立った医療

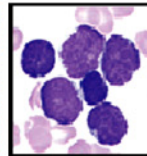


検体検査室

生化学検査では主に血液中の血清や尿について検査しています。生化学自動分析装置を用い肝機能、腎機能など同時に40項目の測定を行い、さらに全自動発光酵素免疫測定装置を用いて感染症、各種ホルモンや、がん関連検査を行っています。さらに糖尿病関連検査など、外来至急検査、院内緊急検査に迅速に対応しています。結果報告まで約1時間程度です。



血液検査では血液中の赤血球、白血球、血小板などの数を測り、白血球細胞分類を行い貧血や炎症の有無を、凝固・線溶検査では止血傾向の状態を調べます。血液疾患に対しては骨髄検査も行っています。

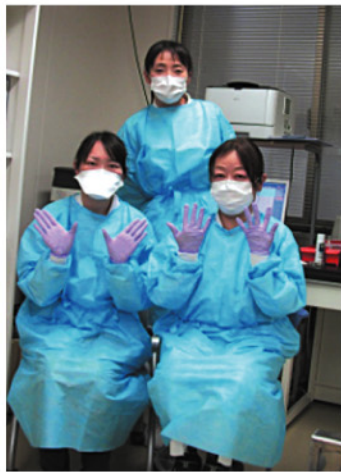


安全な輸血の為に、血液製剤が患者さまの血液と適合しているかどうか確認する血液型検査や交差適合試験、不規則抗体検査を行います。赤十字血液センターへの血液製剤の発注、保管、管理や輸血副作用、輸血にともなう感染症の管理も行なっています。



細菌検査室

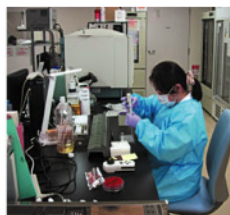
細菌検査では、患者様から採取された喀痰、尿、便、膿、血液などから菌を分離し、感染する抗菌薬の効果を調べます。また、インフルエンザやノロ、抗酸菌PCRなど病原体を迅速に細菌検査室は病院全体の感染症の情報が集まる為、耐性菌情報を発信するなど院内感染対策



提出された検体は、安全キャビネット（キャビネット内の空気は、HEPAフィルターを通して、外気へ排出）の中で処理されます。

菌液を作成後器によって測へ菌液接種さ果を測定しま

色とりどりの培地に検体を接種し、恒温器(35℃)で一晩培養すると…



目に見えなかった微生物が、分裂増殖を繰り返すことによりコロニーという目に見える集合体を形成します。

分離されたの目で確認養後、菌液の同定検査



や細胞形態などを調べる検体検査、により行っています。

を展開しています。

生理検査室

心電図、超音波、呼吸機能、脳波、筋電図などの生理検査に加え、血液ガス検査（耳朶採血）を行っています。

超音波検査室



超音波を使って体の中の状態調べます。

脳波検査室

頭に血電極を付けて脳波と呼ばれる脳の活動電位を調べます。



呼吸機能検査室



鼻にクリップをつけてマウスピースをくわえた状態で、口だけで吸ったり吐いたりとした呼吸を行って頂き、肺の機能を調べます。



心電図検査室



胸部と手足に電極を装着し、心電図を測定します。

筋電図検査室



筋や聴力、視神経の神経に刺激を与えその刺激に対する反応を計測し神経の衰えを調べます。

血ガス測定室



動脈血、または耳朶採血で採取した血液中の酸素やCO₂等の濃度を測定します。

聴力検査室



ヘッドフォンをつけて、聞こえの検査を行います。

の原因菌を見つけ、その菌に対する検出する検査も行っています。活動にも携わっています。

は、自動機
定カード内
れ、検査結
す。



細菌を技師
し、分離培
を作成し菌
と薬剤感受性検査を行います。



血液培養装置
血液ボトルを直接機械に挿入することで自動的に発育の有無を判定します。

抗酸菌PCR検査

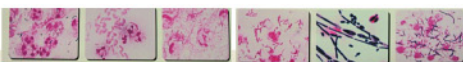
結核菌や非定型抗酸菌のDNAを増幅し微量の菌を短時間で検出します。



高感度インフルエンザ抗原検査装置を導入しました。早期診断治療と院内感染の予防に役立っています。



抗酸菌自動培養装置
結核菌などの発育に時間のかかる抗酸菌を自動で培養判定をします。最終判定まで6週間かかります。



直接検体をスライドに塗布し、染色を行う事で、迅速に、原因菌を推定したり抗酸菌の排菌量を推定することも出来ます。そのためにも、質の良い検体を提出することが重要になります。

手洗いキッズセミナーを開催して

感染管理認定看護師 溝内 育子

平成27年3月5日、たんぼぼ保育園で園児対象の「手洗いキッズセミナー」を開催しました。指導にあたったメンバーが、妖怪ウォッチのキャラクターを胸につけて自己紹介すると、子供たちはキャラクターについて自分たちの知っていることを次から次へと話してくれました。私たちの緊張感も子供たちのフレンドリーさでどこかに飛んでいきました。

外で遊んだりすると自分達の手はとても汚いんだよというお話の紙芝居に、子供たちは目をキラキラさせながら一生懸命私たちの話を聞いてくれました。「あわあわ手あらいのうた」に合わせて手洗いの練習を行いました。「おねがい、おねがい、カメさん、カメさん〜♪」「子供が家に帰ってからも歌に合わせて手を洗っていました」と、のちに園児のお母さんから聞き、大変うれしく思いました。最後に、手形をスタンプしてメダルをひとりひとり作成して、「上手に手洗いできましたメダル」を胸にかけてもらいました。

子供たちに手洗い指導を行うはずが、話を聞く姿勢、素直な心で一生懸命取り組み姿勢と子供たちから教えられた時間でもありました。院内感染対策研修でも、職員ひとりひとりが手洗いの大切さを感じて、このように楽しく一緒に学べたらどんなに楽しいかと思いました。次年度は、子供たちからもらったエッセンスが少しでも活かせるような研修ができればいいと思いました。



ボランティア感謝状贈呈式



平成27年3月12日に平成26年度ボランティア感謝状贈呈式及び懇談会を開催いたしました。

当院においては、11団体、10個人が障害児(者)病棟での音楽活動、本の読み聞かせ、話し相手、縫製作業等、総合案内での活動、敷地内の草刈り作業等の幅広いご支援をいただいています。

当日は、8団体、4個人の出席があり、宗田院長より感謝状の贈呈が行われました。贈呈式の後には、懇談会も行われ各団体、個人から活動内容の紹介や当院に対する要望等をお聞きました。院長より6月21日に南岡山医療センターがグランドオープンとなり、より一層地域に開かれた病院を目指す上で、ボランティアの皆さんのお力は欠かせないこと、今後も患者様に温かい手を差し伸べてほしいと賛辞を贈りました。

ボランティア感謝状贈呈式出席団体・個人

(順不同)

- ・早島町婦人会様
- ・早島町更生保護女性会様
- ・早島町愛育委員会様
- ・国際ソロプチミスト 岡山さつき様
- ・当院OB会(桜山会)様
- ・野の花の会様
- ・倉敷アカデミアンサンプル様
- ・つくし病棟家族会様
- ・正司様
- ・上田様
- ・鈴木様
- ・阿部様



独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話 (086) 482-1121 (代表)
F A X (086) 482-3883
<http://www.sokayama.jp/>

